

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—391—

2020.1.31

◎今年度前期のハンドリングゼミと特別セミナーのお知らせ

露木宏

今年もよろしく申し上げます。

久しぶりの第23回ハンドリングゼミは、3月21日(土)と3月28日(土)に行います。

また4月11日(土)には特別セミナーを行います。

ご確認をお願いします。

◎ハンドリングゼミ

戦後～昭和中期の装身具—作家の創作装身具 (1)

〔開催日〕

Aグループ 3月21日(土)PM2:30～5:00

Bグループ 3月28日(土)PM2:30～5:00

〔参加費〕

4,000円 (当日1F受付で)

※今年度より、年会費は不要となります。

同伴者2名参加可。参加費はメンバーと同額。

同伴される方がいる場合は、事前にご連絡ください。

ハンドリング作品は

<http://www.j-bunka.jp/work/japan23.html> をご覧ください。

※参加される方は、『日本の装身具』VIII章、『日本のジュエリー100年』第9章を読んでおくと、理解が早いと思います。

※作家の装身具の全体像は「伝統装身具ネット図鑑」の昭和中期(8)

「作家の装身具」をご覧ください。今回取り上げたもの以外の作品は

次回(後期)に取り上げる予定です。

※変更・追加があるかもしれませんので、プリントするのは

開催3日位前にしておいてください。

プリントできない方は事務局 深谷までご連絡ください (info@jj-craft.com)

※欠席・グループの振替は必ず事前にご連絡ください。(資料の配布等、準備都合のため)

◎特別セミナー

戦時体制下前後の白色合金—その分析結果

川野良信、岩崎 望、露木 宏

〔開催日〕

4月11日(土)PM2:30~5:00

〔参加費〕

2,000円(当日1F受付で)

同伴者1名参加可。参加費はメンバーと同額。

同伴される方がいる場合は、事前にご連絡ください。

2018年9月と2019年9月に、立正大学地球環境学部で学院コレクションの中から10数点の白色地金(PLN、SPM、WCN、MPMなど)の元素分析を行っていただきました。

分析者：川野良信教授(岩石学)、岩崎望教授

その結果について、分析サンプルを交えてご報告すると共に、

不明な点が多かった白色地金の装身具への理解を深めていただきたいと思います。

〔参加申し込み〕

事務局 深谷 (info@jj-craft.com) までお申込みください。



◇ご自身のコレクションの持ち込みはなるべくご遠慮ください。
紛失等が起きても責任が持てませんので。(見て欲しいモノがある方は別に時間を設けます。)

ジュエリー文化史研究会
<http://www.j-bunka.jp/>